


治安等に関するアンケート結果

平成18年4月

鹿児島県警察本部 

1 調査目的

治安等に関する県民の意識を調査することにより、「あんしん・かごしま」の創造に向けた警察行政を推進する上での基礎資料とするため

2 調査項目

- (1) 鹿児島県の治安について
- (2) 犯罪に対する不安について
- (3) 治安に関する情報について
- (4) 治安に関する協力について
- (5) 安全で安心なまちづくりについて
- (6) 警察に対する要望などについて
- (7) 交番・駐在所について
- (8) 「空き交番」について
- (9) 交番相談員について
- (10) 警察安全相談について

3 調査対象

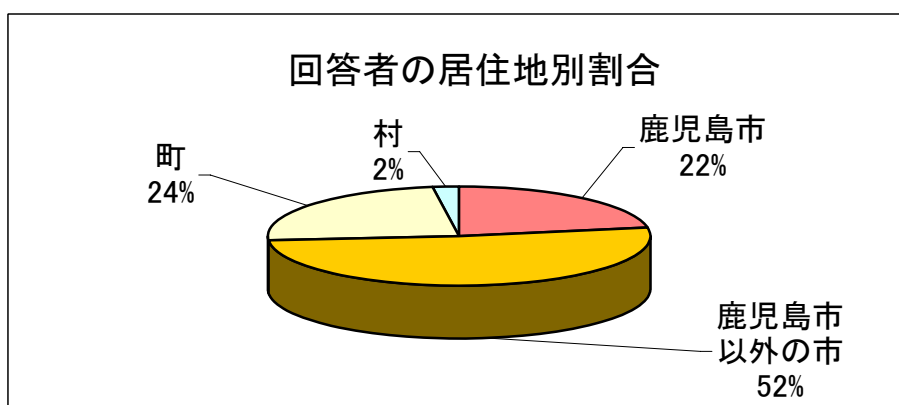
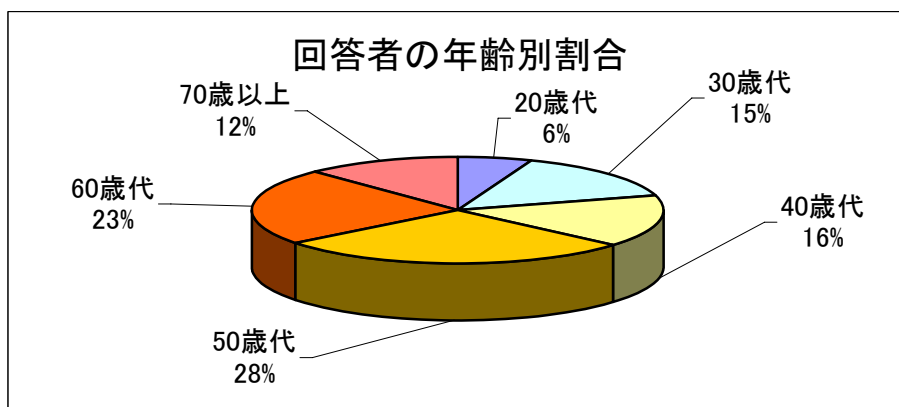
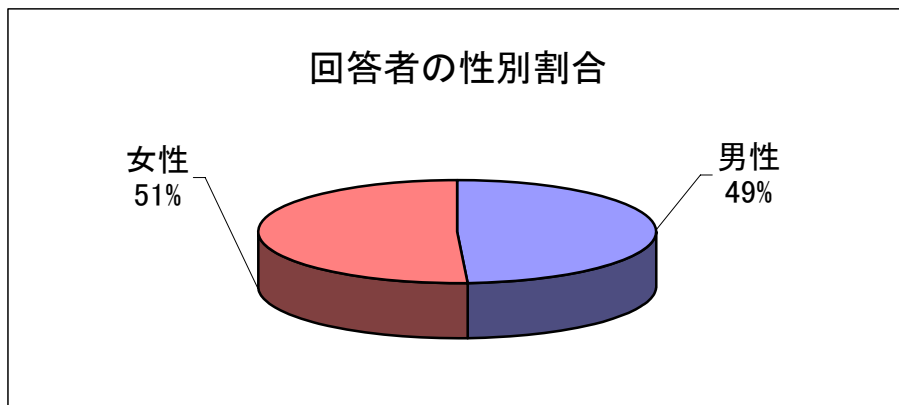
県政モニター 213人

4 調査時期

平成18年2月17日～3月13日(25日間)

5 回答結果

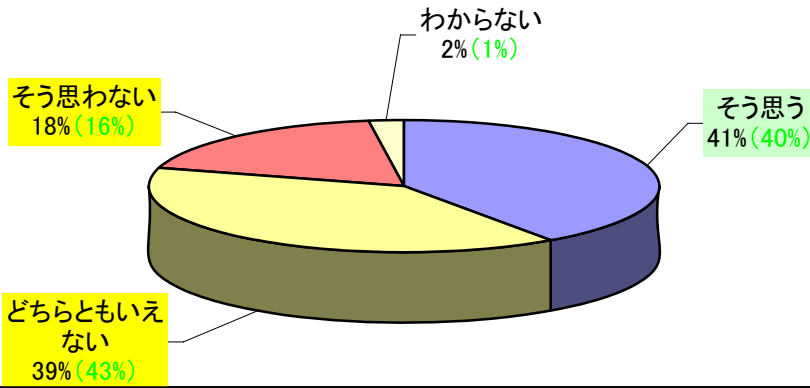
- (1) 回答者 171人(男性84人, 女性87人)
- (2) 回答率 80.3%



1 鹿児島県の治安について

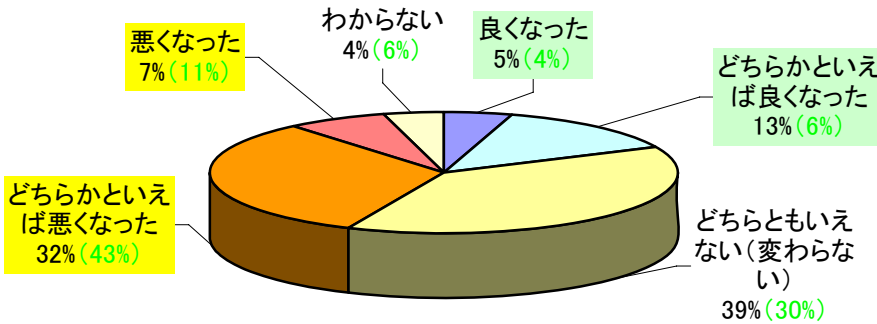
※ () は、前回アンケート結果(平成17年4月実施)

Q1 あなたは、現在の鹿児島が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。



「現在の鹿児島が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思う」と回答した方は、41%であり、前回の調査時より、わずかに1ポイント向上したものの、地方、「そう思わない」と回答した方が18%と2ポイント増加している。

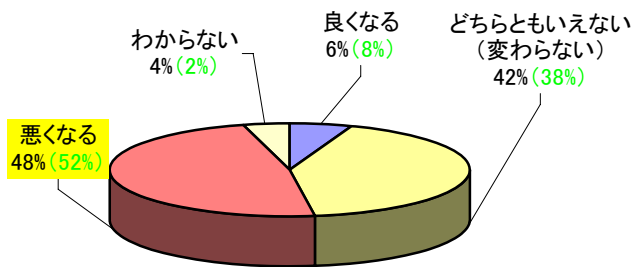
Q2 あなたは、最近、鹿児島の治安は良くなったと思いますか、それとも悪くなったと思いますか。



最近の鹿児島の治安について、「良くなった」又は「どちらかといえば良くなった」と回答した方は、18%であり、前回の調査時より8ポイント向上したものの、39%が「どちらかといえば悪くなった」又は「悪くなった」と回答している(前回54%)。

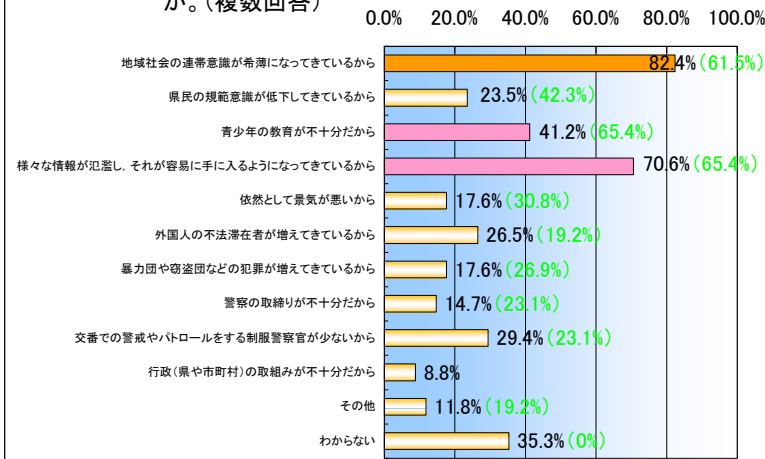
【「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方への更問】

SQ1 今後、鹿児島の治安は良くなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。



【「悪くなる」と回答した方への更問】

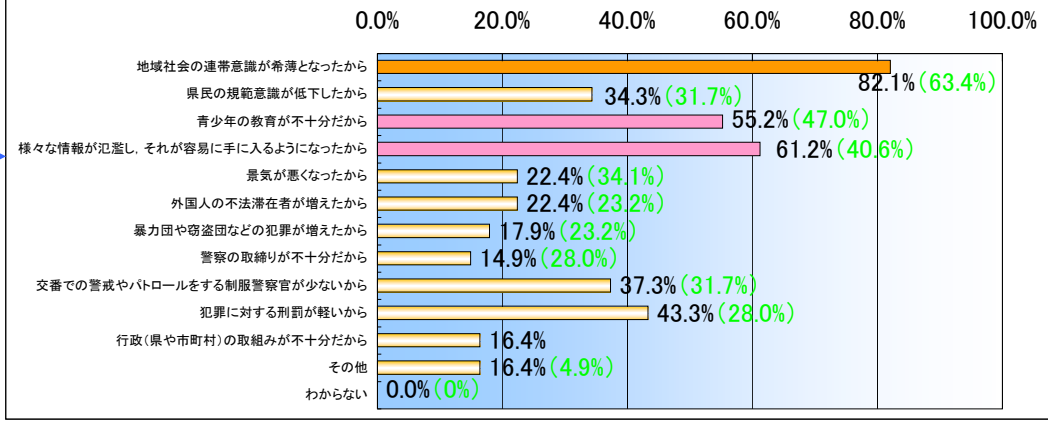
SQ 治安が悪くなると思う理由は何ですか。(複数回答)



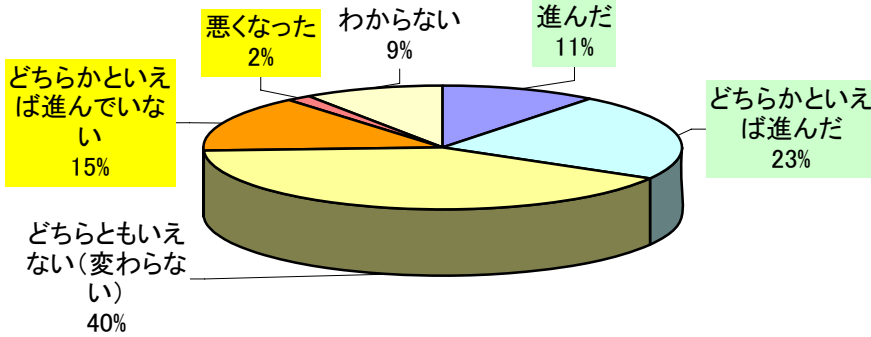
Q2「最近、鹿児島の治安は良くなったと思いますか、それとも悪くなったと思いますか。」との質問に対し、「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方の約半数が「今後、鹿児島の治安は悪くなると思う」と回答している。また、「治安が悪くなった(悪くなる)原因(理由)」として、多くの回答者が「地域社会の連帯意識が希薄となったから」、「青少年の教育が不十分だから」、「様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから」を挙げている。

【「どちらかといえば悪くなった」又は「悪くなった」と回答した方への更問】

SQ2 治安が悪くなった原因は何だと思いませんか。(複数回答)



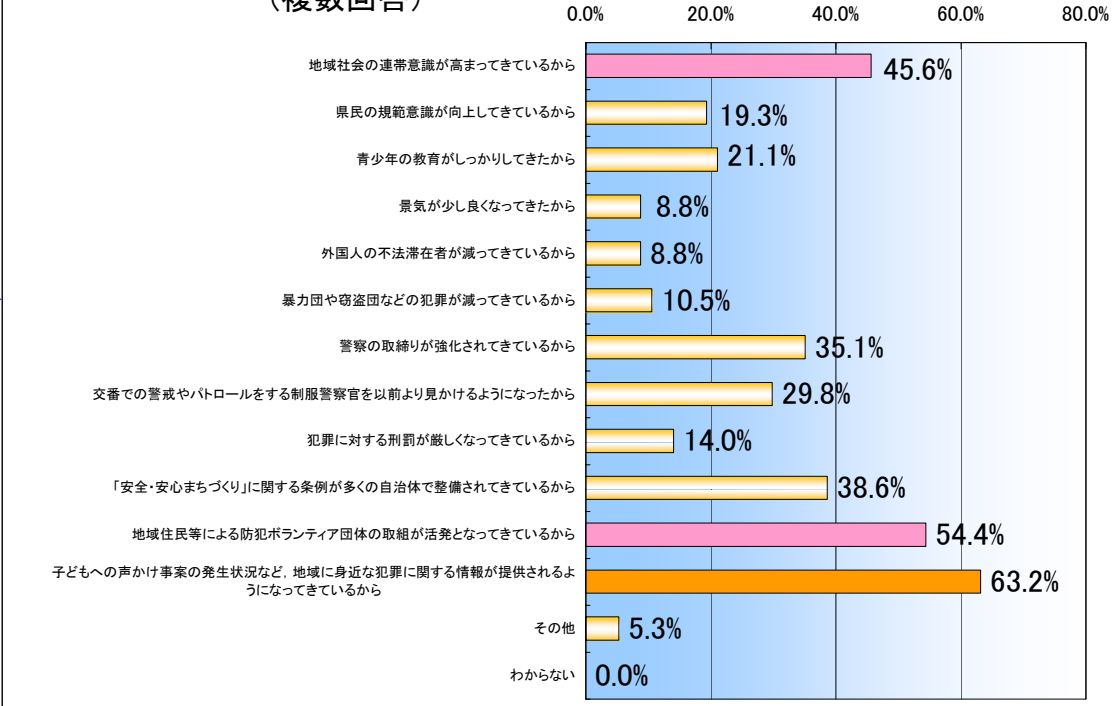
Q3 あなたは、ここ1年間で鹿児島における治安への取組が進んだと思いますか、それとも進んでいないと思いますか。



ここ1年間の鹿児島における治安への取組について、回答者の34%が「進んだ」又は「どちらかといえば進んだ」と回答しているものの、17%が「どちらかといえば進んでいない」、「悪くなった」と回答している。

【「進んだ」及び「どちらかといえば進んだ」と回答した方への更問】

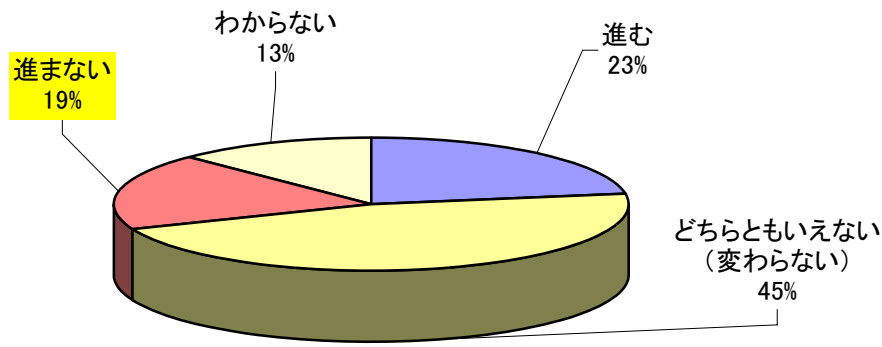
SQ1 治安への取組が進んだ原因は何だと思いませんか。(複数回答)



ここ1年間の鹿児島における治安への取組について、「進んだ」又は「どちらかといえば進んだ」と回答した方の多くが、その理由として「子どもへの声かけ事案の発生状況など、地域に身近な犯罪に関する情報が提供されるようになってきているから」などを挙げている。

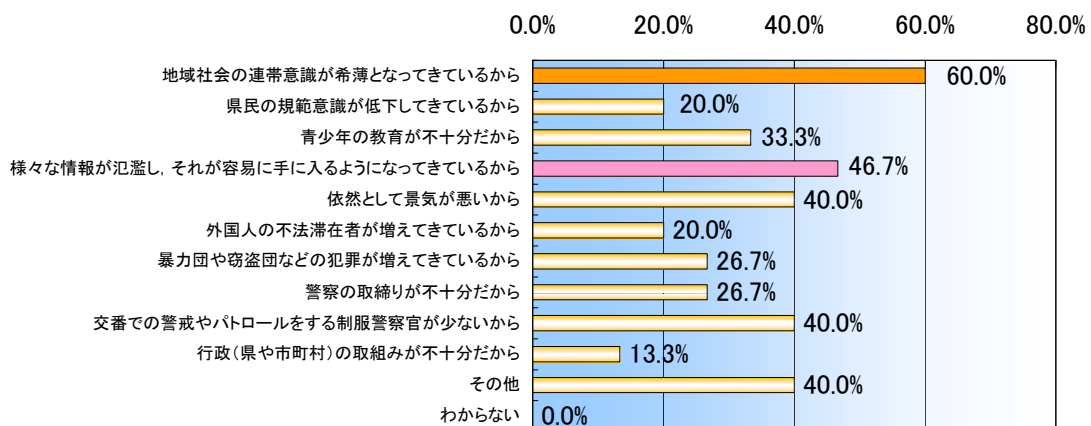
【「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方への更問】

SQ2 今後、鹿児島における治安への取組は進むと思いますか、それとも進まないと思いますか。



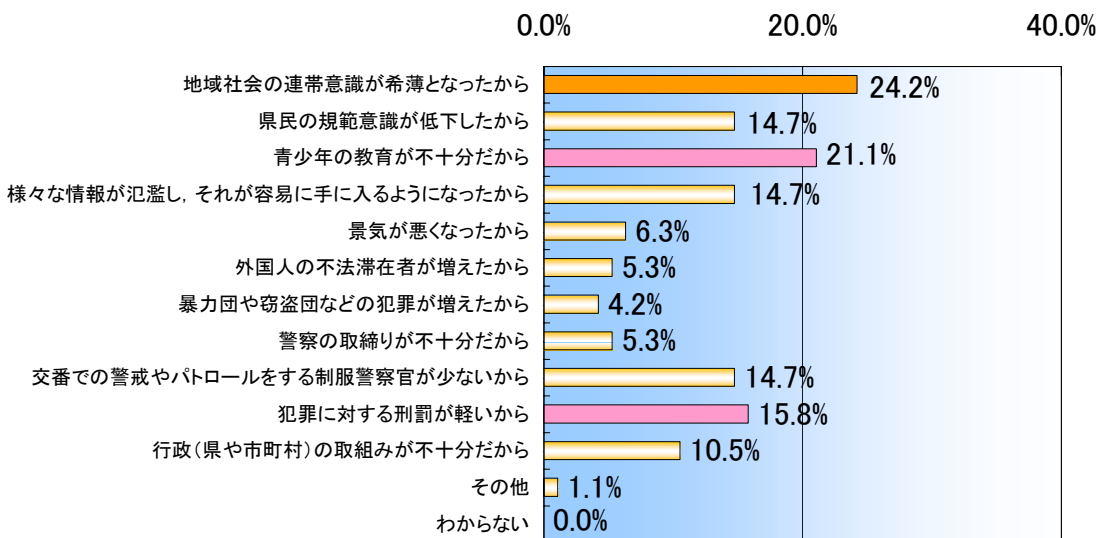
【「進まない」と回答した方への更問】

SQ 治安への取組が進まないと思う理由は何ですか。(複数回答)



【「どちらかといえば進んでいない」及び「悪くなった」と回答した方への更問】

SQ3 治安への取組が進んでいない原因は何だと思えますか。(複数回答)

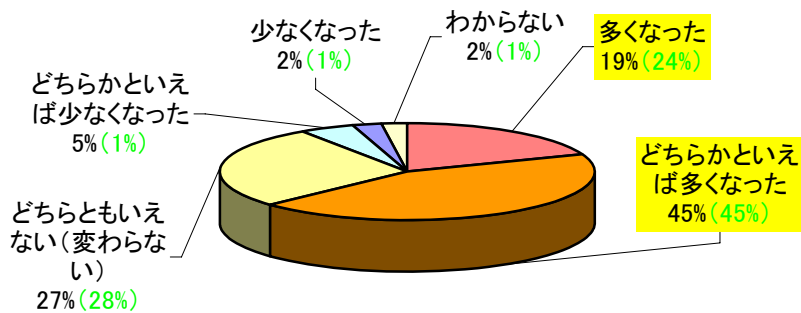


Q3 「ここ1年間で鹿児島における治安への取組が進んだと思えますか、それとも進んでいないと思えますか。」との質問に対し、「どちらともいえない」(変わらない)と回答した方の19%が、「今後も、治安への取組は進まないと思う」と回答している。

また、「治安への取組が進んでいない(進まない)原因(理由)」として、多くの回答者が「地域社会の連帯意識が希薄だから」、「青少年の教育が不十分だから」、「犯罪に対する刑罰が軽いから」を挙げている。

2 犯罪に対する不安について

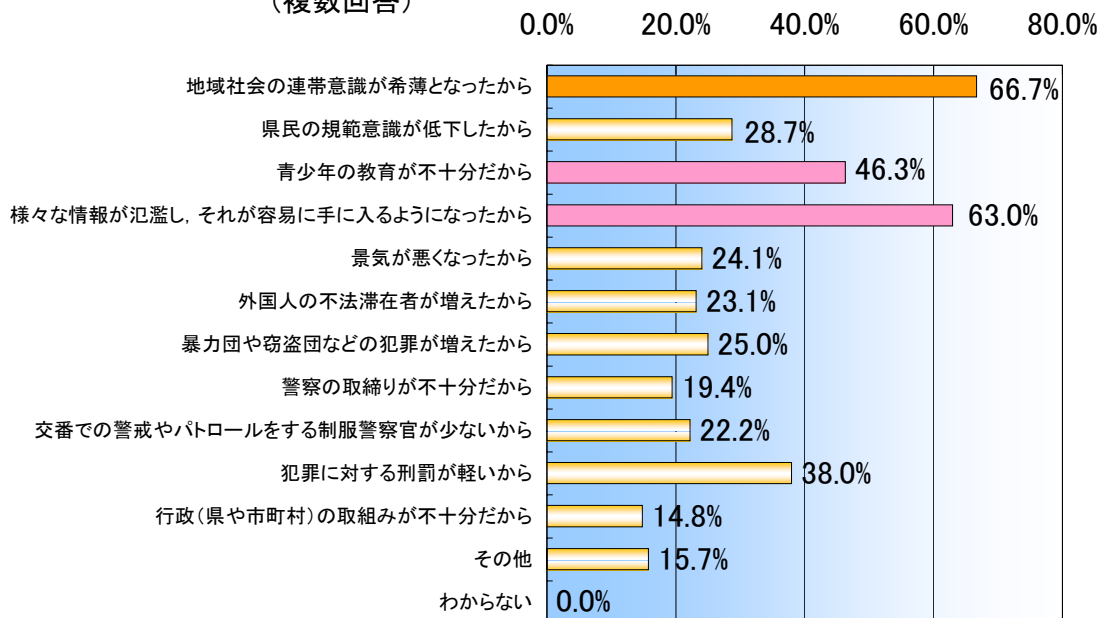
Q4 あなたは、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが多くなったと思いますか、それとも少なくなったと思いますか。



ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方は、64%であり、前回の69%より5ポイント改善されているものの、依然として約6割強もの多くの方が不安を感じている。

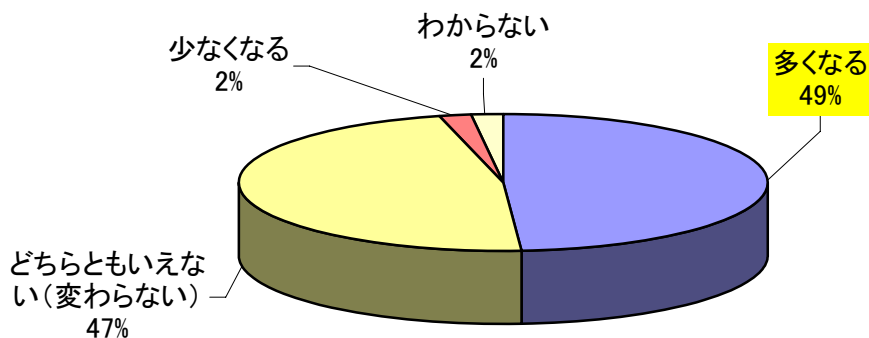
【「多くなった」及び「どちらかといえば多くなった」と回答した方への更問】

SQ1 不安になることが多くなった原因は何だと思えますか。
(複数回答)



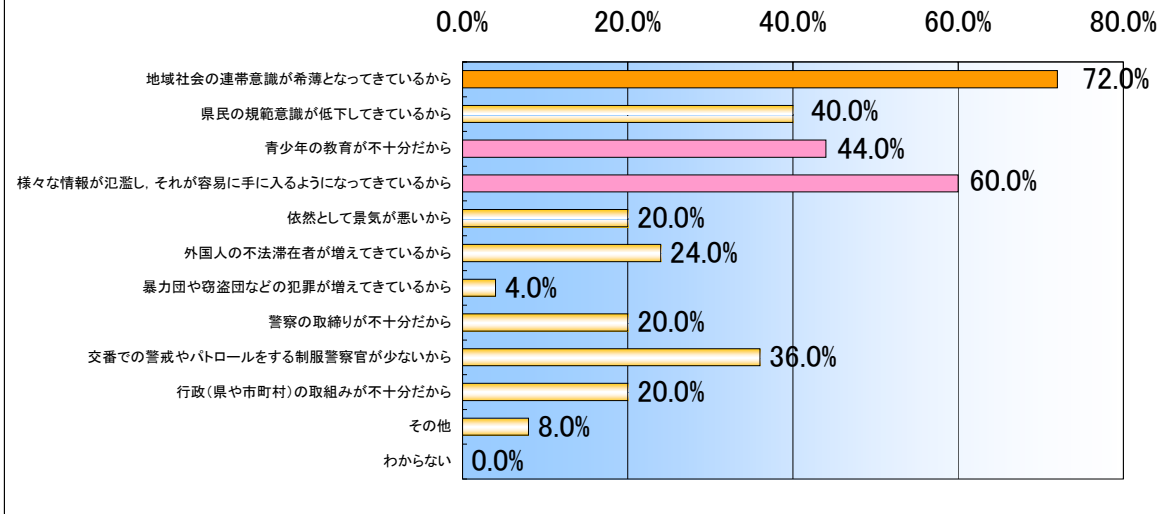
【「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方への更問】

SQ2 今後、不安になることが多くなると思えますか、それとも少なくなると思えますか。



【「多くなる」と回答した方への更問】

SQ 不安になることが多くなると思う理由は何ですか。(複数回答)

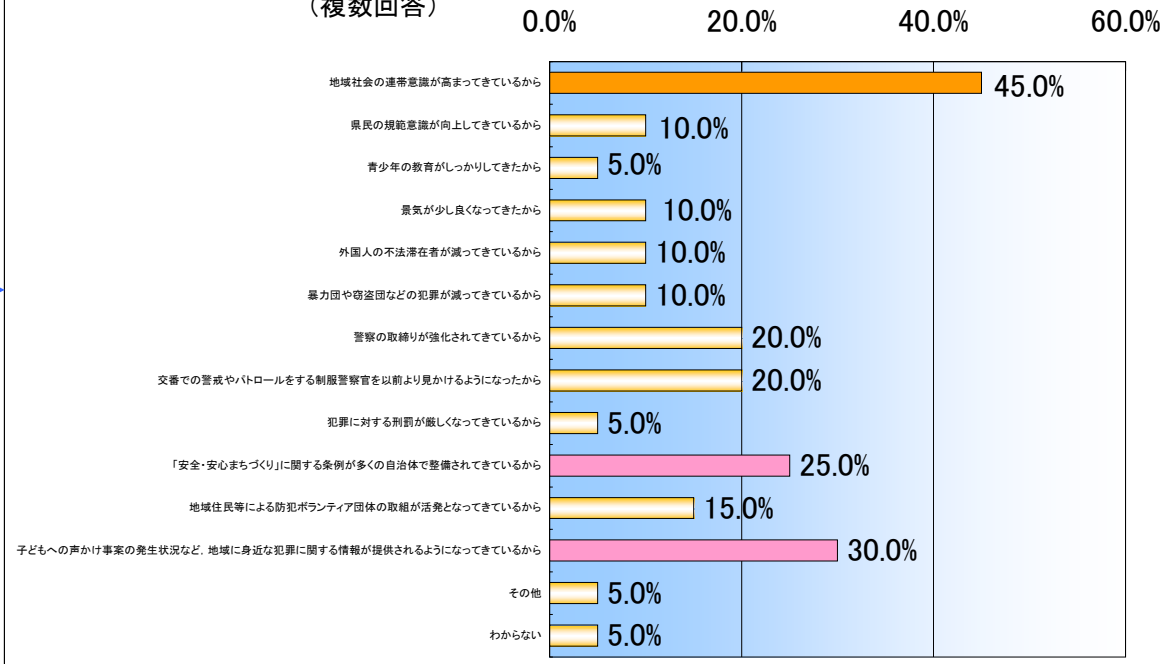


Q4 「ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが多くなったと思いますか、それとも少なくなったと思いますか。」との質問に対し、「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方の49%が、「今後、不安になることが多くなると思う」と回答している。

また、「犯罪への不安が多くなった(多くなる)原因(理由)」として、多くの回答者が治安への取組が進んでいない(進まない)原因(理由)」として、多くの回答者が、「地域社会の連帯意識が希薄だから」、「様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから」、「青少年の教育が不十分だから」を挙げている。

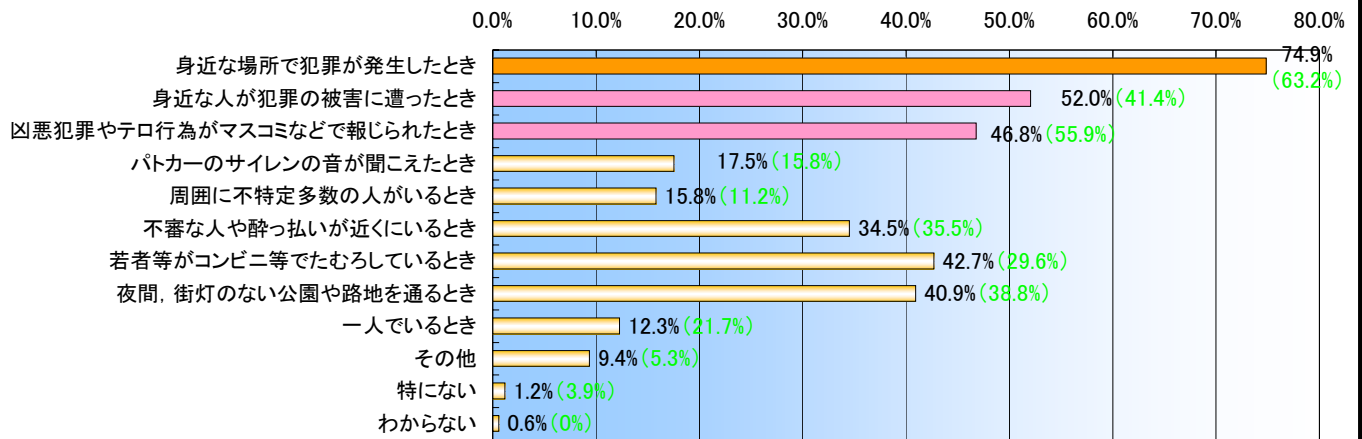
【「どちらかといえば少なくなった」及び「少なくなった」と回答した方への更問】

SQ3 不安になることが少なくなった原因は何だと思いませんか。(複数回答)

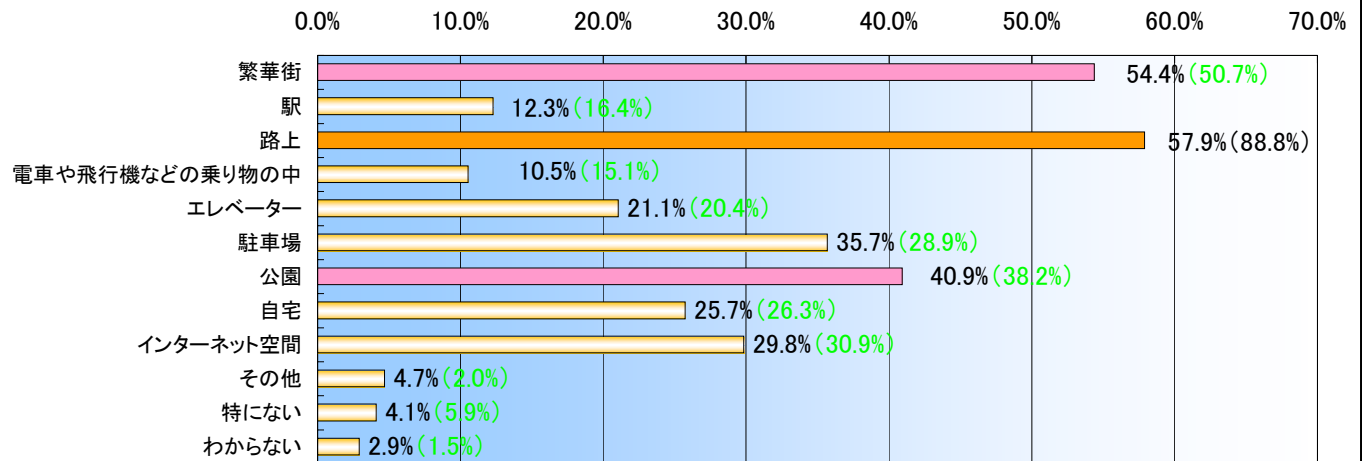


ここ1年間の犯罪への不安について、「どちらかといえば少なくなった」又は「少なくなった」と回答した方の多くが、その理由として「地域社会の連帯意識が高まってきているから」、「子どもへの声かけ事案の発生状況など、地域に身近な犯罪に関する情報が提供されるようになってきているから」、「『安全・安心まちづくり』に関する条例が多くの自治体で整備されてきているから」を挙げている。

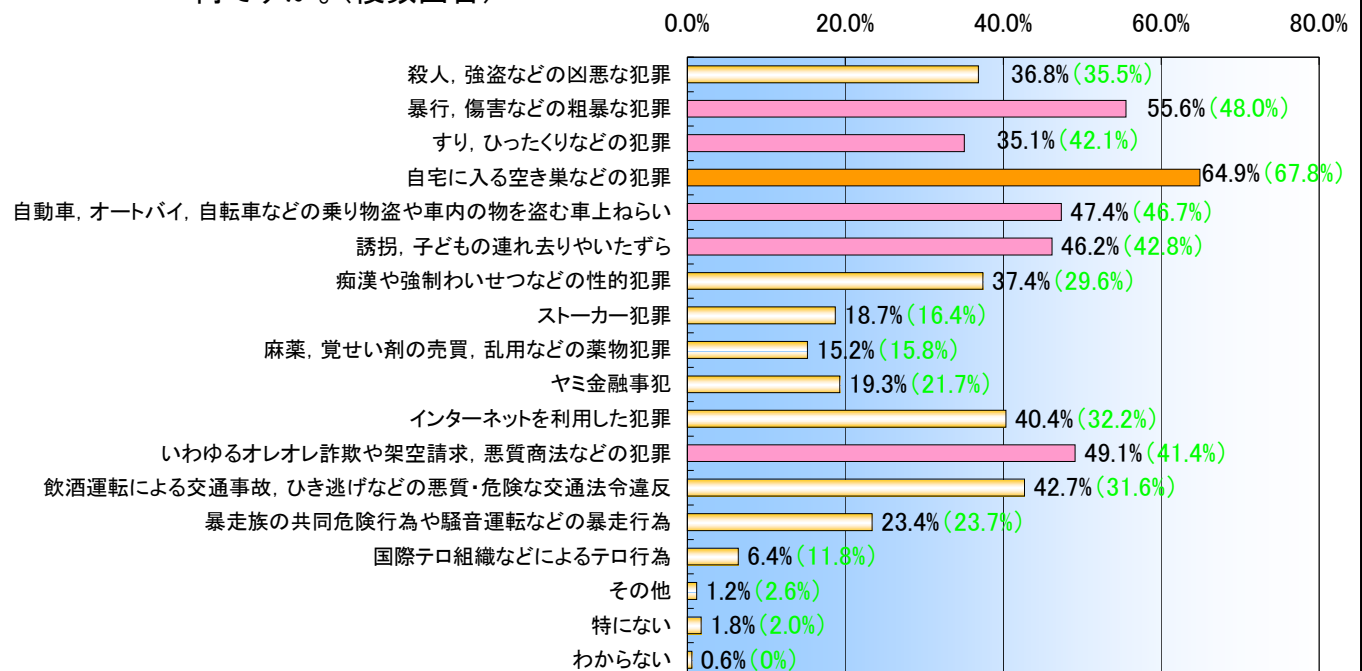
Q5 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になるのはどのようなときですか。(複数回答)



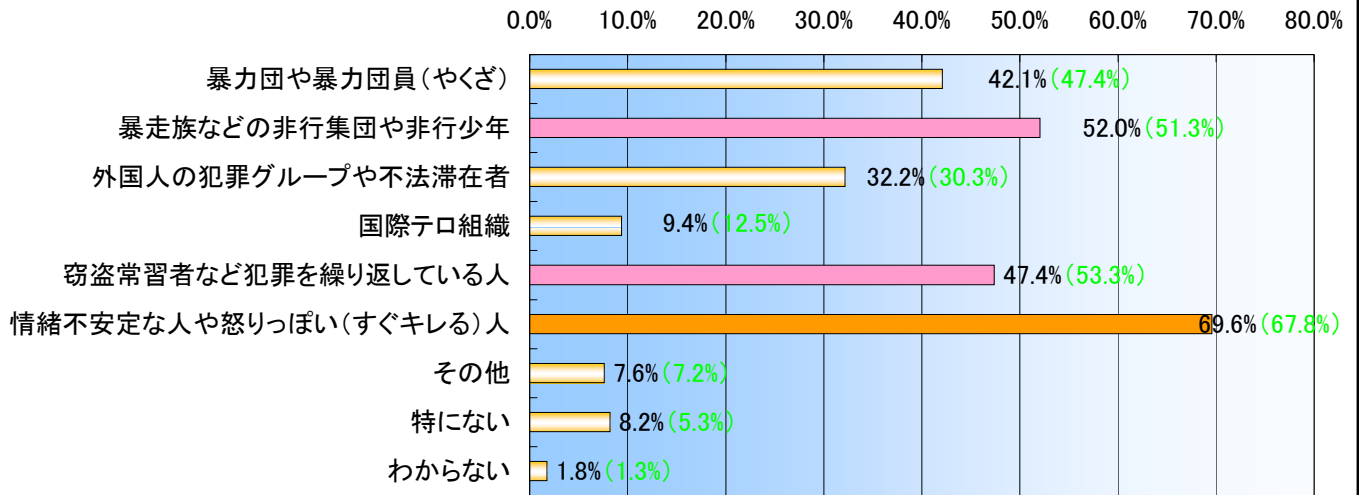
Q6 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる場所はどこですか。(複数回答)



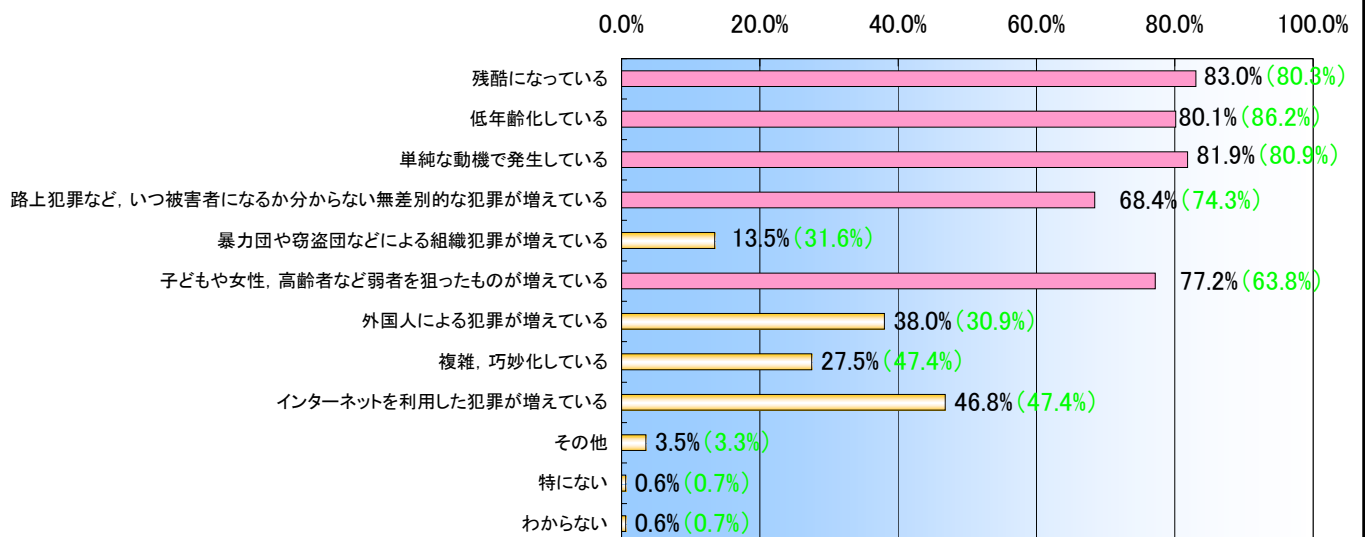
Q7 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。(複数回答)



Q8 あなたが、自分や身近な人を犯罪に巻き込むかもしれないと不安になる組織や個人は何ですか。(複数回答)

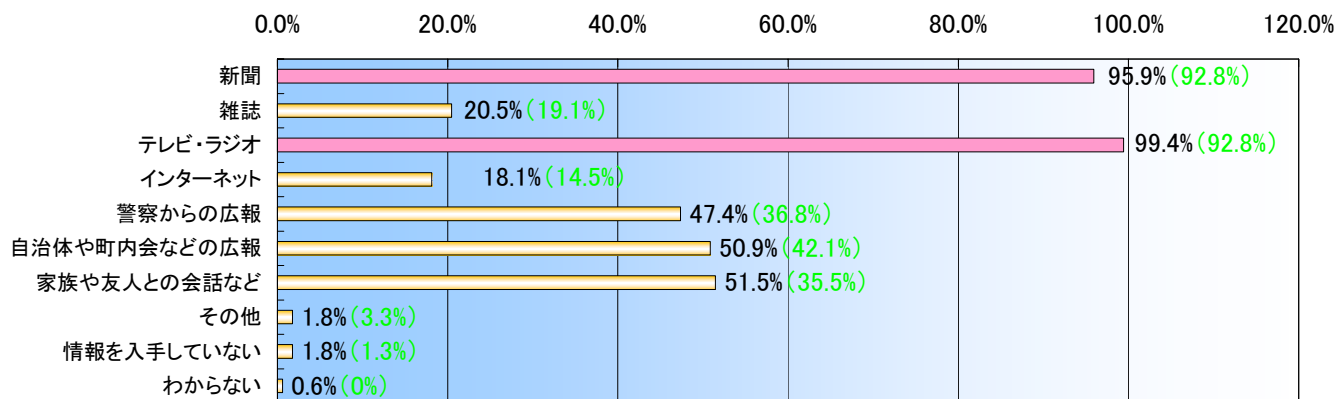


Q9 あなたは、最近の犯罪はどのような傾向があると思いますか。(複数回答)

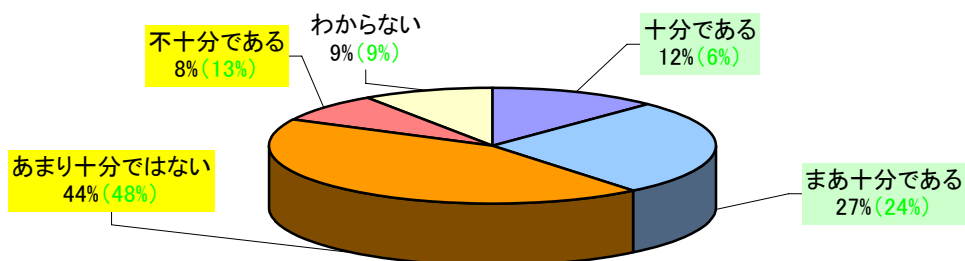


3 犯罪に関する情報について

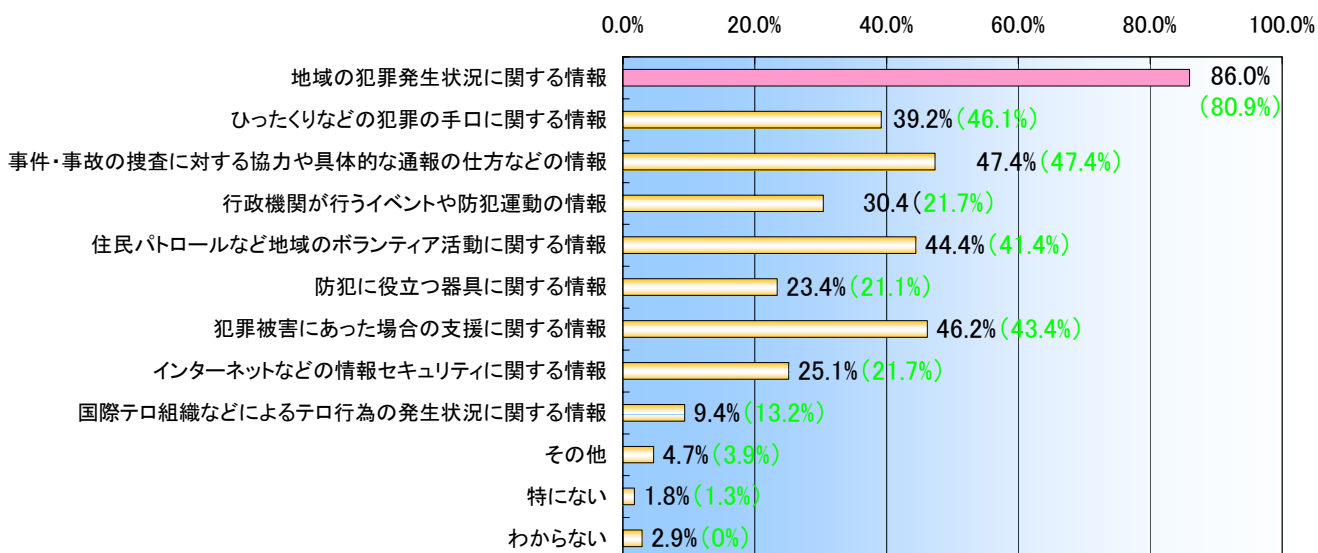
Q10 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。(複数回答)



Q11 あなたは、警察や自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分であると思いますか。



Q12 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、どのようなものが提供されたいと思いますか。(複数回答)

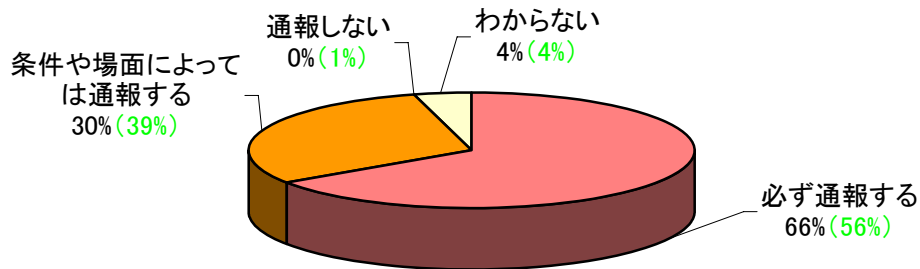


警察や自治体からの治安や犯罪に関する情報提供について、「十分である」又は「まあ十分である」と思うと回答した方は、39%であり、前回調査時より9ポイント向上しているものの、未だ半数以上の方が情報提供が不十分であると考えている。

また、提供してもらいたい治安や犯罪に関する情報として、多くの回答者が、「地域の犯罪発生状況に関する情報」を挙げている。

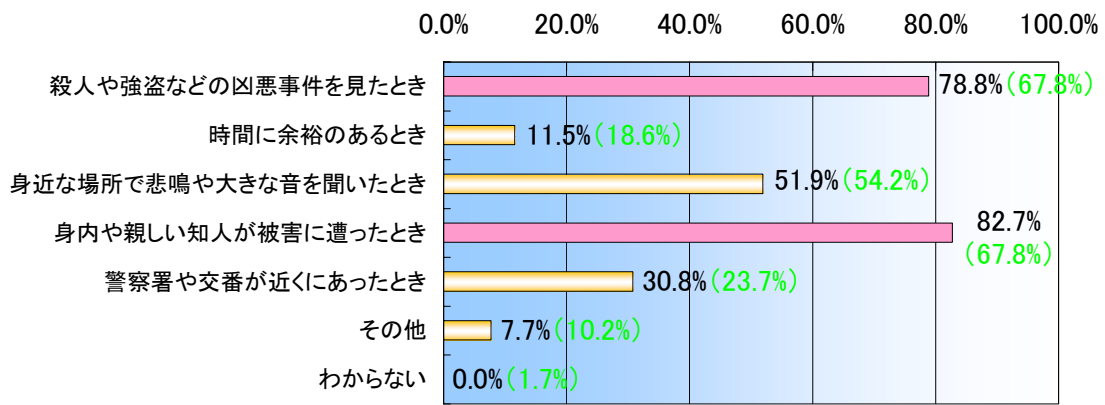
4 治安に関する協力について

Q13 あなたは、犯罪を見たり、悲鳴などを聞いたりした場合、警察に通報しますか。



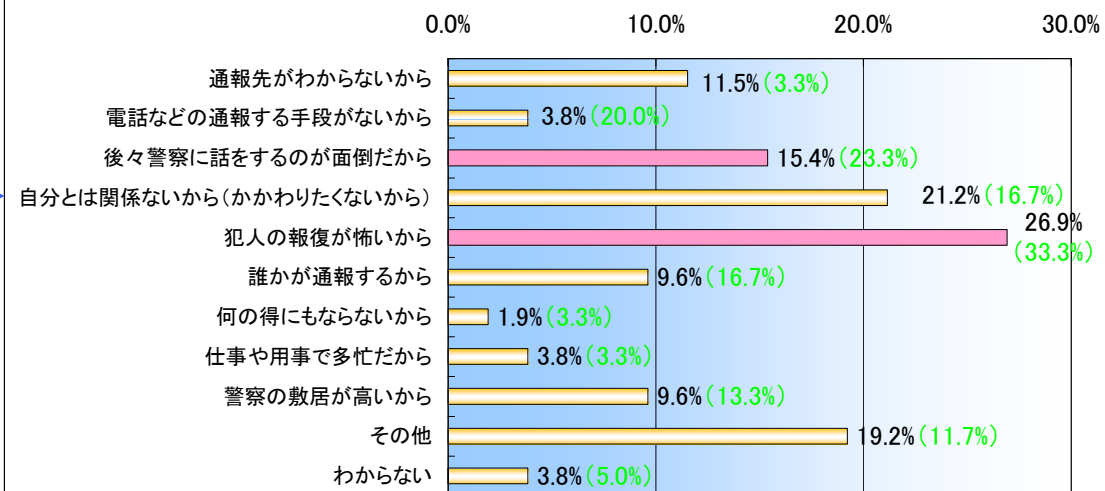
【「条件や場面によっては通報する」と回答した方への更問】

SQ1 では、こういった条件や場面であれば通報しますか。(複数回答)

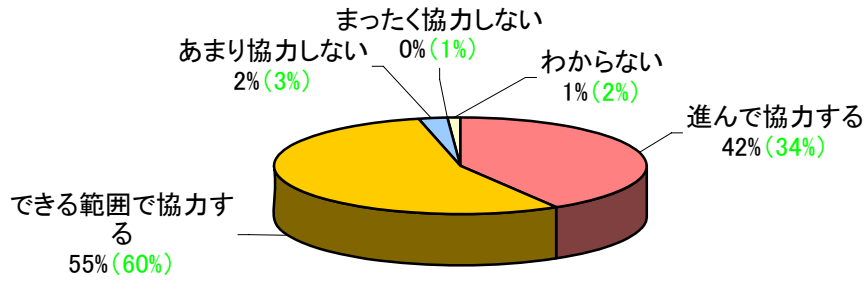


【「条件や場面によっては通報する」又は「通報しない」と回答した方への更問】

SQ2 では、通報しない理由は何ですか。(複数回答)

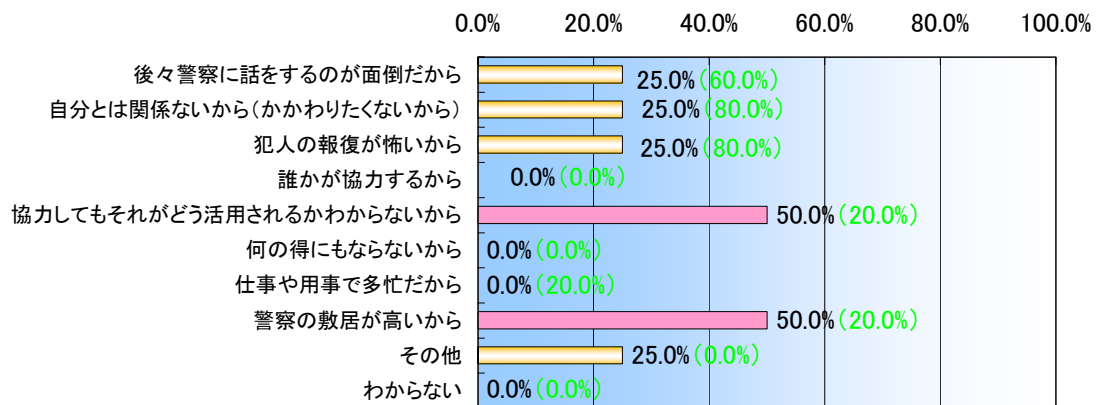


Q14 あなたは、警察から事件などに対する協力を求められたとき、どうしますか。



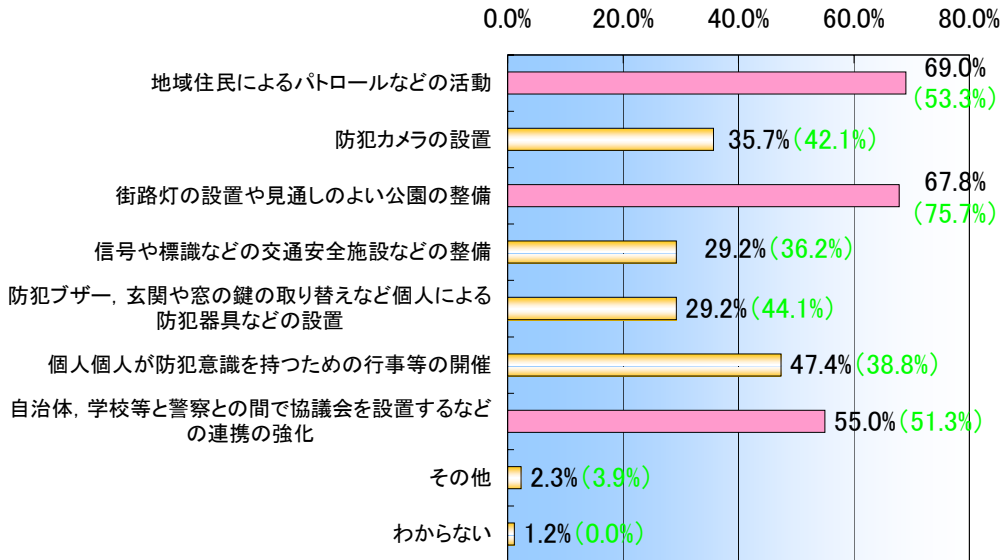
【「あまり協力しない」又は「まったく協力しない」と回答した方への更問】

SQ その理由は何ですか。(複数回答)



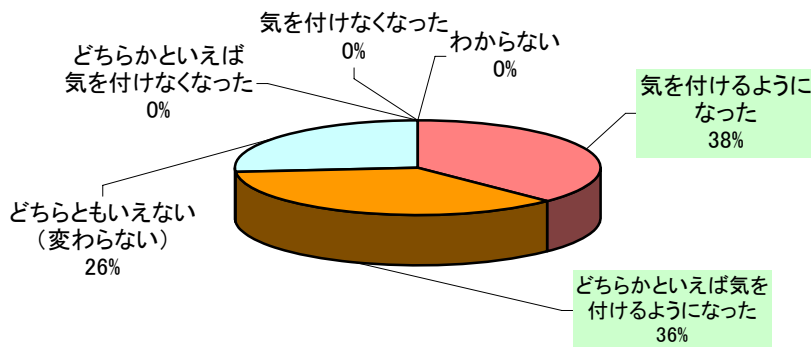
5 安全で安心なまちづくりについて

Q15 あなたは、安全で安心な地域社会を実現するための地域の取組みとして、どのようなものが効果的であると考えますか。(複数回答)



安全で安心な地域社会を実現するための地域の取組みとして、多くの回答者が、前回の調査時と同じく、「地域住民によるパトロールなどの活動」、「街路灯の設置や見通しのよい公園の整備」、「自治体、学校等と警察との間で協議会を設置するなどの連携の強化」等が効果的であると考えている。

Q16 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになりましたか。

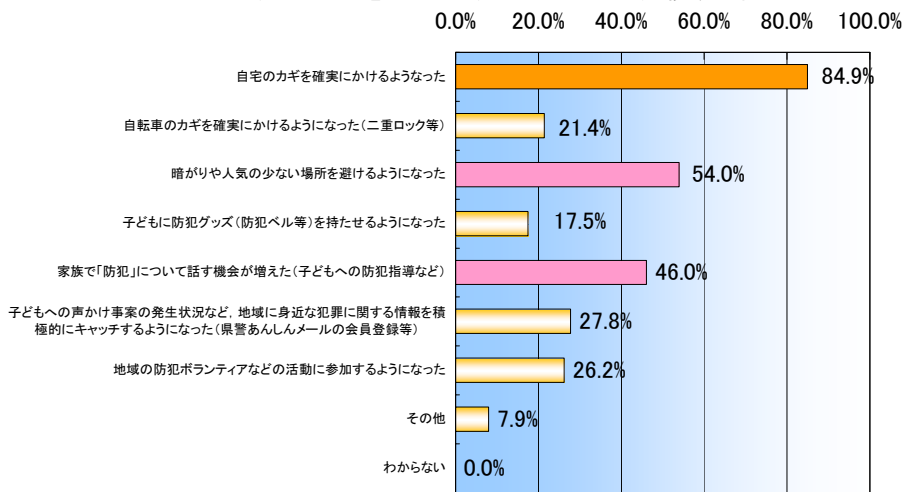


回答者の74%が、ここ1年間で防犯ということに「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答している。

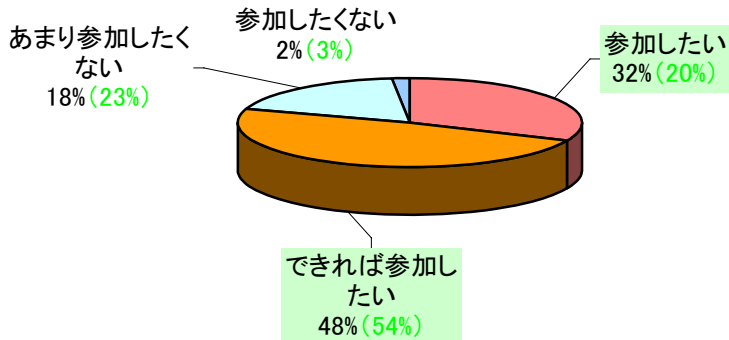
また、気を付けるようになった点としては、多くの方が、「自宅の鍵を確実にかけるようになった」、「暗がりや人気の少ない場所を避けるようになった」、「家族で「防犯」について話す機会が増えた(子どもへの防犯指導など)」を挙げている。

【「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答した方への更問】

SQ どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答)

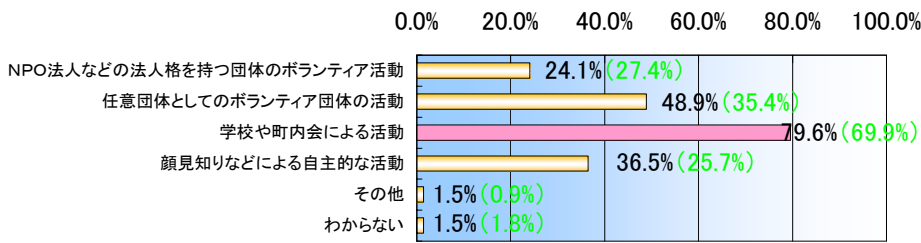


Q17 近年、都市化や核家族化により地域における連帯感が希薄化し、犯罪や少年非行を防止する地域社会の犯罪抑止力が低下しているため、地域住民やボランティア団体が自主的なパトロールや防犯活動を行い、犯罪や少年非行が起きにくい、安全で安心なまちづくりを行っていく必要があると言われています。あなたは、こうした自主的な防犯活動に参加したいと思いませんか。

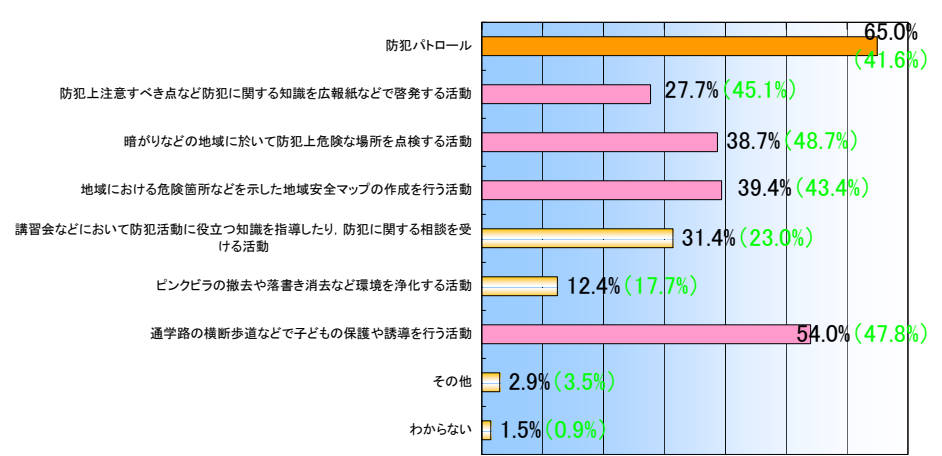


自主的な防犯活動に「参加したい」又は「できれば参加したい」と思うと回答した方は、80%であり、前回より6ポイント向上している。
また、「参加したい」又は「できれば参加したい」と思うと回答した方の多くが、「学校や町内会による活動」において、「防犯パトロール」、「通学路の横断歩道などで子どもの保護や誘導を行う活動」などに参加したいと回答しており、前回の調査時より、子どもの安全対策に直接たずさわる活動を希望する方が増加している。

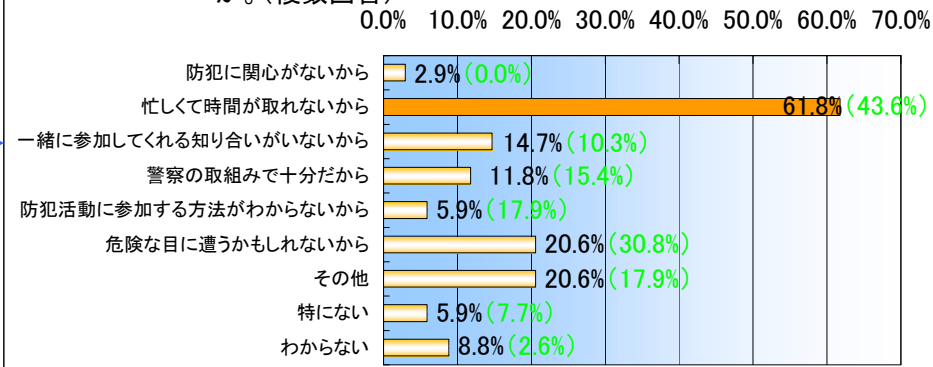
【「参加したい」又は「できれば参加したい」と回答した方への更問】
SQ1 では、どのような団体などの防犯活動に参加したいと思いますか。(複数回答)



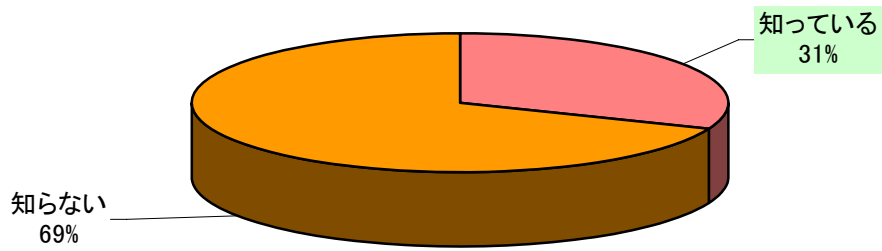
SQ2 では、どのような内容の防犯活動に参加したいと思いますか。(複数回答)



【「あまり参加したくない」又は「参加したくない」と回答した方への更問】
SQ では、防犯活動に参加したくない理由は何ですか。(複数回答)

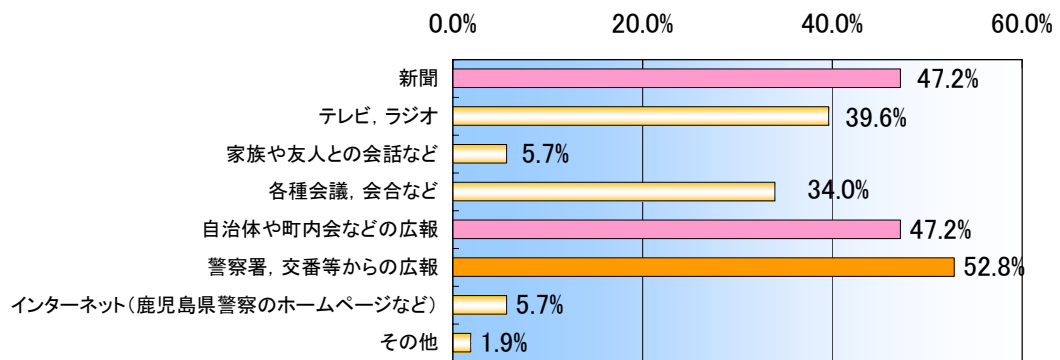


Q18 鹿児島県警では、昨年4月から、県民みんなの知恵と力を結集するための治安対策上の共通ビジョンである「あんしん・かごしま」創造プログラムを本格的実施に移し、「地域社会との連帯」を基本理念に、自治体、関係機関・団体、ボランティアの方々の連携、協働による様々な取組みを推進しているところであります。あなたは、この取組みについて知っていますか。



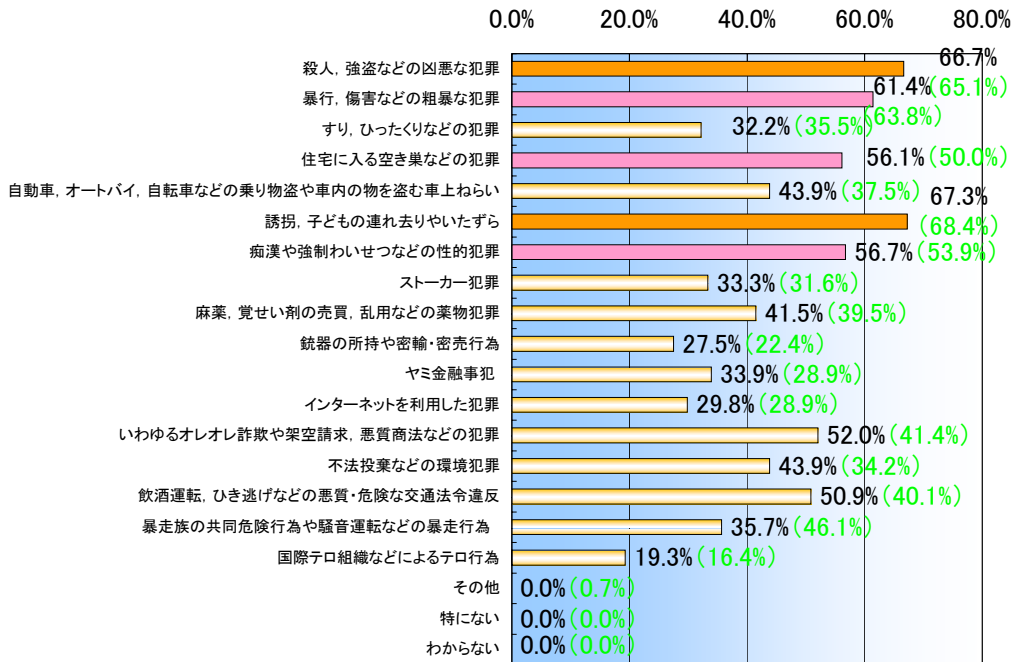
【「知っている」と回答した方への更問】

SQ どのようにして知りましたか。



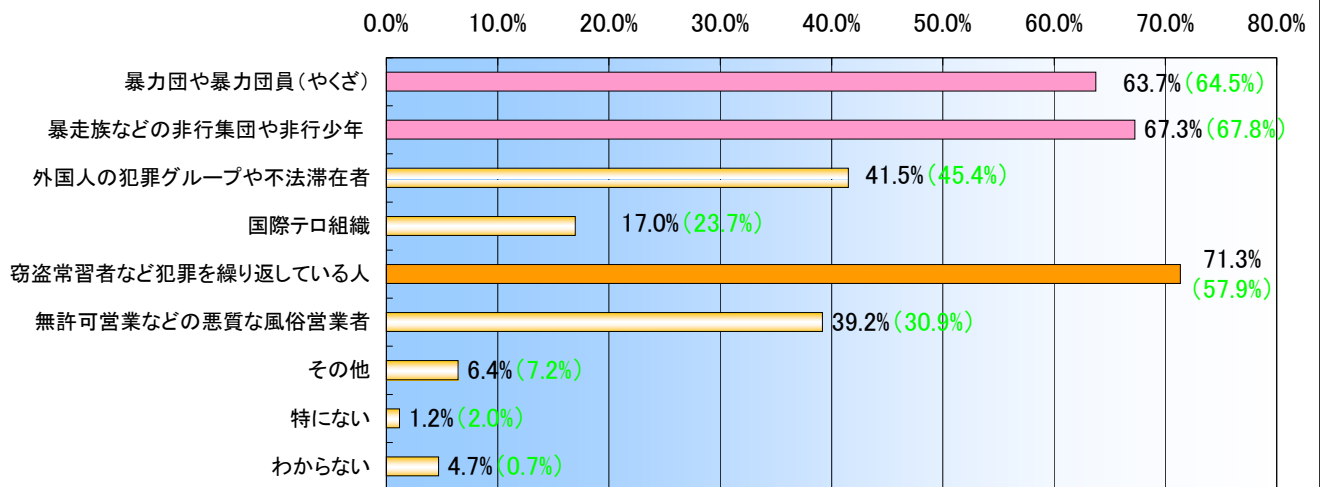
6 警察に対する要望などについて

Q19 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。(複数回答)

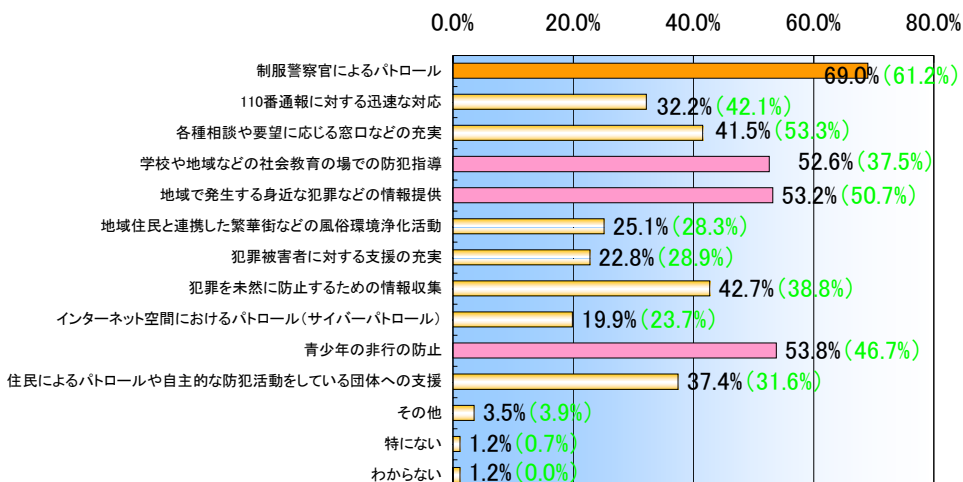


警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪として、前回の調査時と同じく、多くの回答者が、「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」・「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」・「誘拐、子どもの連れ去りやいたずら」・「痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪」などを挙げている。

Q20 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい組織や個人は何ですか。(複数回答)



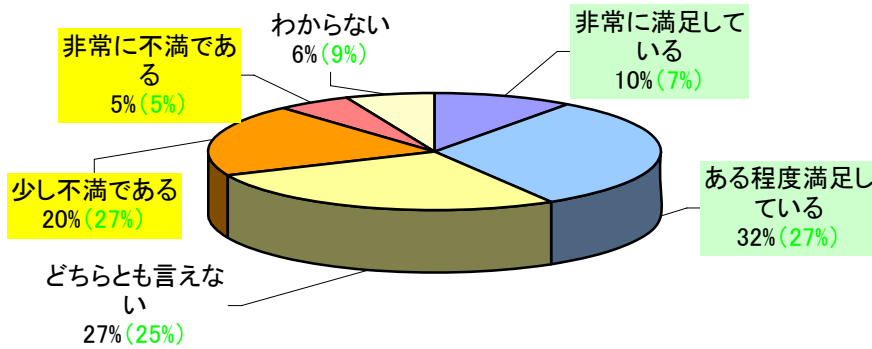
Q21 あなたは、犯罪の取締り以外に警察が、今後、特に力を入れるべき活動として、どのようなものを望みますか。(複数回答)



犯罪の取締り以外に警察が、今後、特に力を入れるべき活動として、多くの回答者が、「制服警察官によるパトロール」、「青少年の非行の防止」、「地域で発生する身近な犯罪などの情報提供」、「学校や地域などの社会教育の場での防犯指導」などを望んでおり、いずれもこのような要望は増加している。

7 交番・駐在所について

Q22 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、満足していますか。

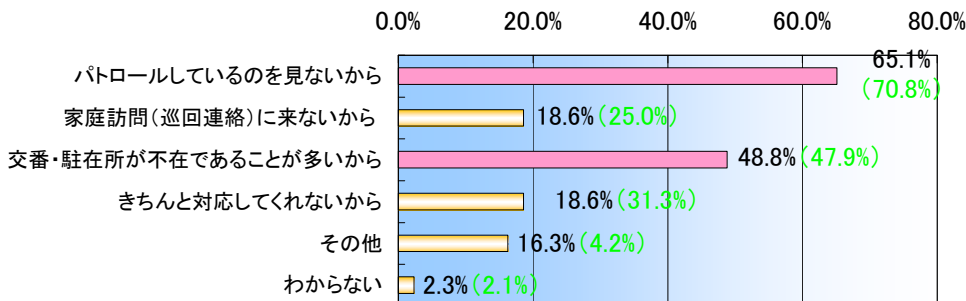


交番・駐在所の警察官の活動について、「非常に満足している」又は「ある程度満足している」と回答した方は、42%であり、前回の調査時より、8ポイント向上している。

他方、25%（7ポイント減）の回答者が「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答している。

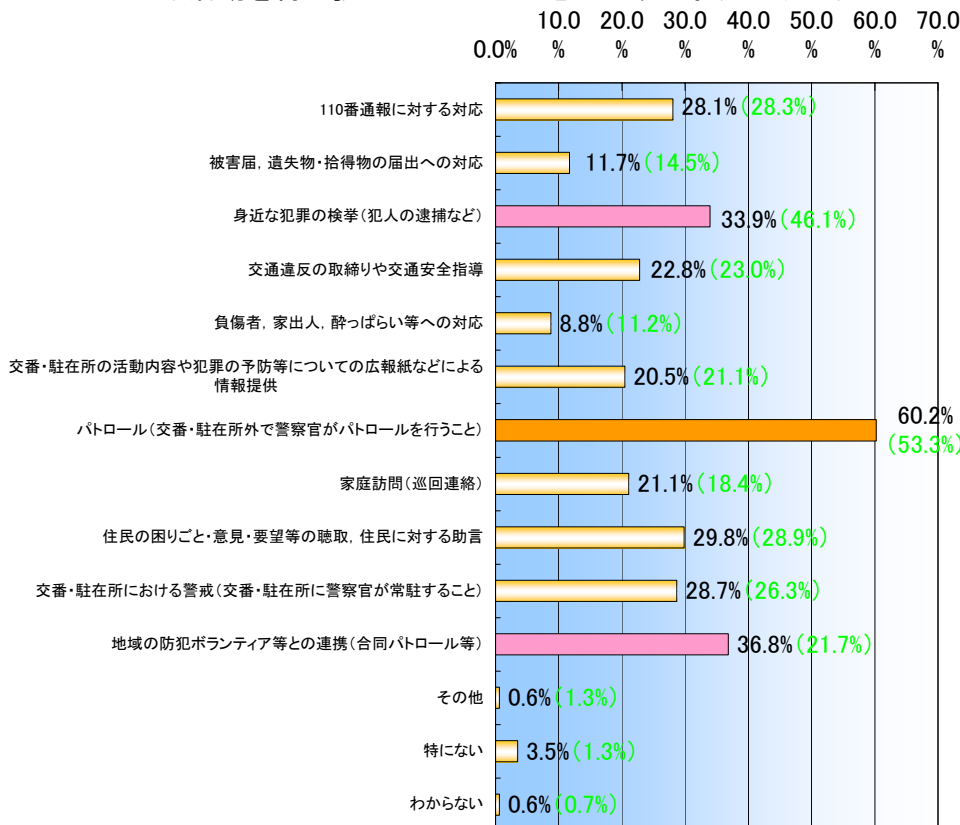
【「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答した方への更問】

SQ 不満である理由は何ですか。（複数回答）



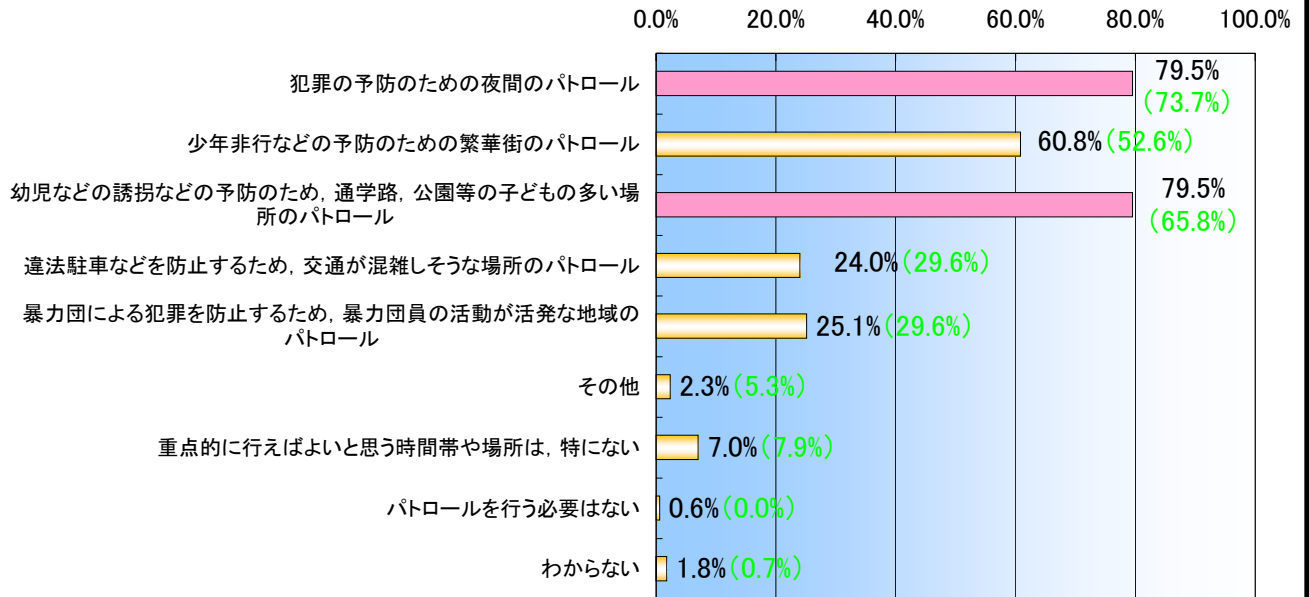
交番・駐在所の警察官の活動について不満である理由として、多くの回答者が、「パトロールしているのを見ないから」、「交番・駐在所が不在であることが多いから」などの理由を挙げている。

Q23 あなたは、今後、交番・駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。（3つ以内）



交番・駐在所の警察官に特に強化してほしい活動として、「パトロール」、「地域の防犯ボランティア等との連携(合同パトロール等)」などの街頭における活動とともに、「交番・駐在所における警戒」、「困りごと・意見・要望等の聴取、助言」等の交番・駐在所における活動を挙げており、いずれもこのような要望は増加している。

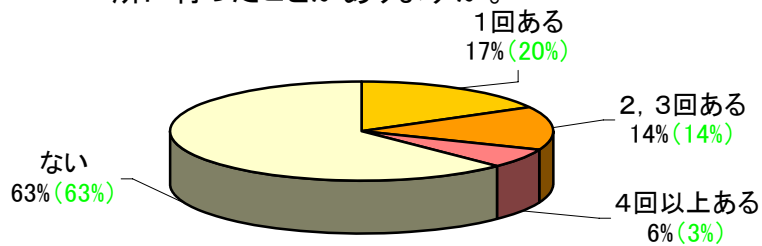
Q24 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。(複数回答)



回答者の多くが、時間帯については「夜間」、場所については「通学路や公園等の子どもの多い場所」などを挙げている。

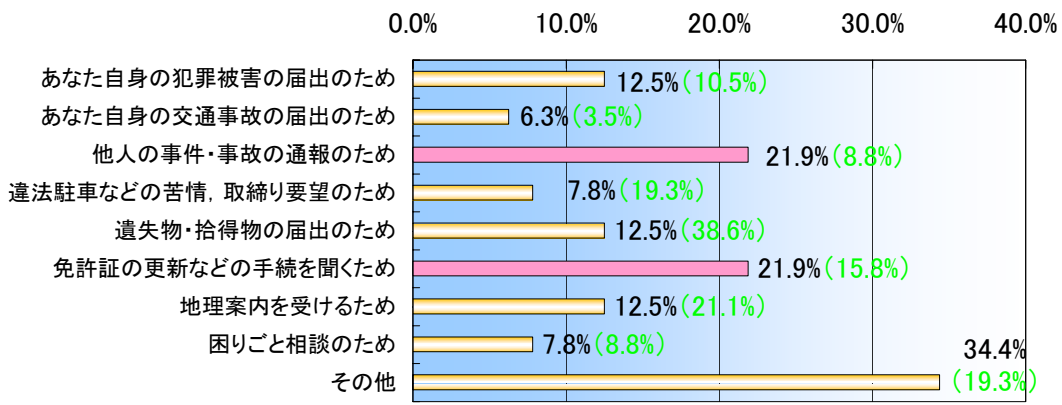
8 「空き交番」について

Q25 あなたは、この1年位の間に近くの交番・駐在所に行ったことがありますか。



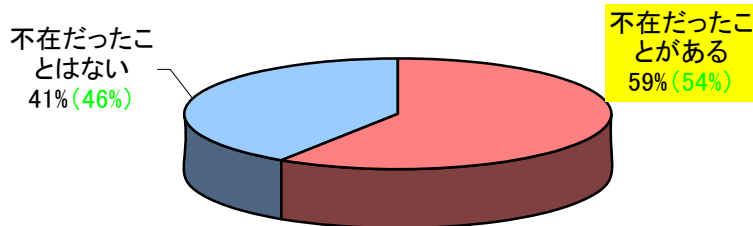
【「この1年位の間に近くの交番・駐在所に行ったことがある」と回答した方への更問】

SQ1 あなたが、近くの交番・駐在所に行ったときの用件はどのようなことでしたか。(複数回答)



【「1回ある」、「2, 3回ある」及び「4回以上ある」と回答した方への更問】

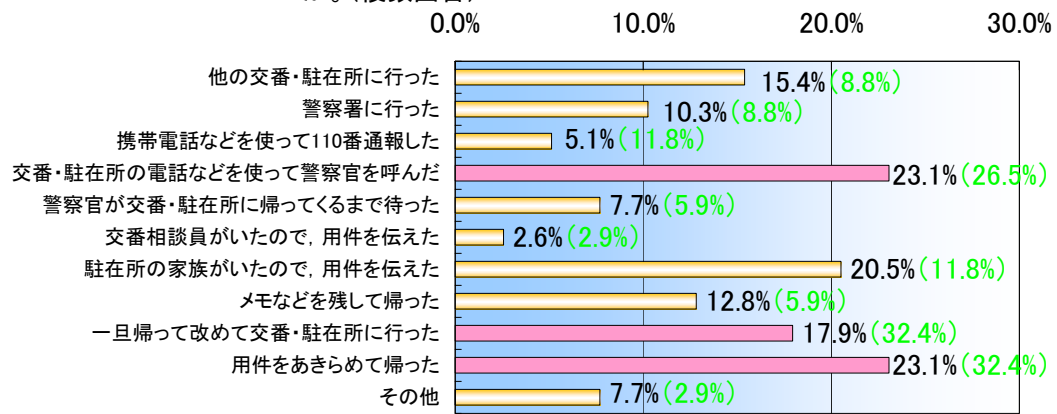
SQ2 あなたが、近くの交番・駐在所に行ったとき交番・駐在所に警察官が不在だったことがありますか。それともありませんか。



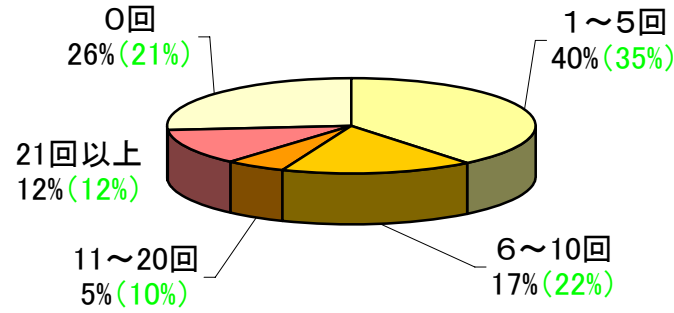
「交番・駐在所に行ったとき警察官が不在であった」と回答した方は、59%であり、前回の調査時より、5ポイント増加している。

【「不在だったことがある」と回答した方への更問】

SQ 警察官が不在だったとき、あなたはどのようにしましたか。(複数回答)

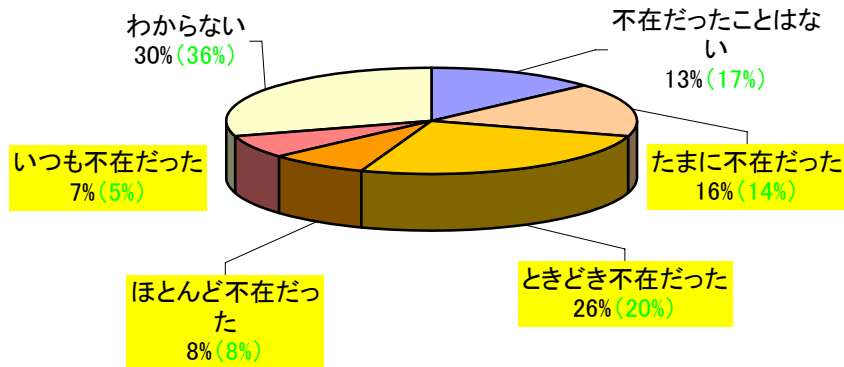


Q26 あなたは、この1か月位の間に、何回位、近くの交番・駐在所の前(近く)を通りましたか。

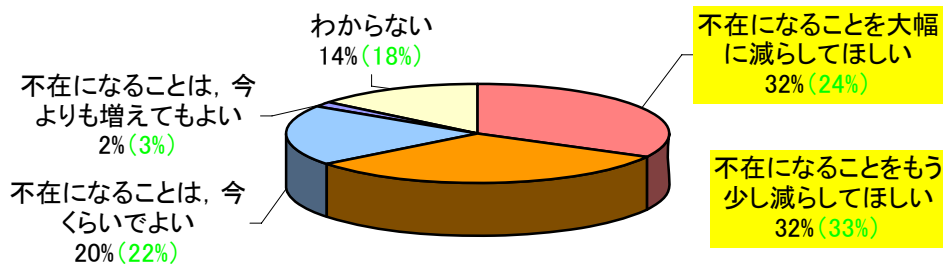


【この1か月位の間に近くの交番・駐在所の前(近く)を通ったことがある」と回答した方への更問】

SQ あなたが、近くの交番・駐在所の前(近く)を通ったとき、交番・駐在所に警察官が不在だったことがありますか。

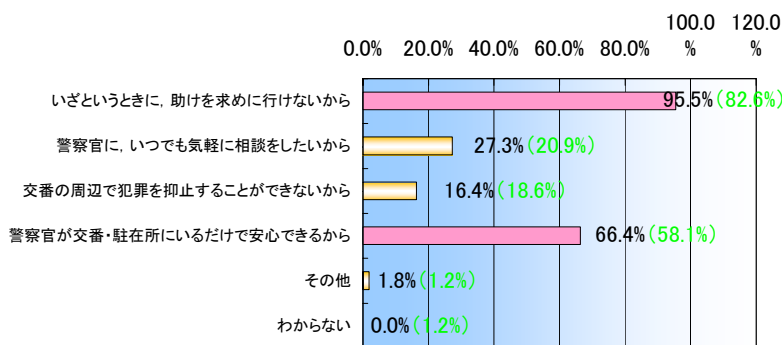


Q27 最近、交番・駐在所の警察官は、事件・事故等への対応が増加し、また、パトロールを強化しているため、交番・駐在所に警察官が不在になることが多くなっています。あなたは、あなたのお宅の近くの交番・駐在所に警察官が不在になることを減らしてほしいと思いますか。



【「交番・駐在所に警察官が不在になることを減らしてほしい」と回答した方への更問】

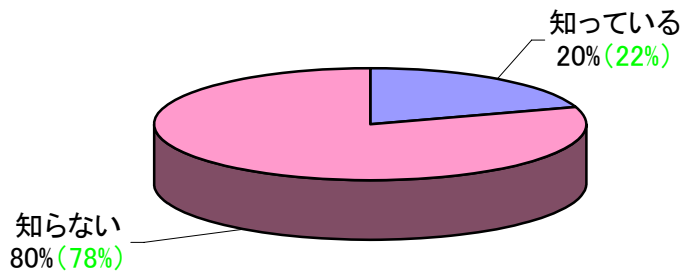
SQ あなたの近くの交番・駐在所に警察官が不在になることを減らしてほしい理由は何ですか。(複数回答)



交番・駐在所に警察官が不在になることを「大幅に減らしてほしい」又は「もう少し減らしてほしい」と回答した方は、64%であり、前回の調査時より7ポイント増加している。

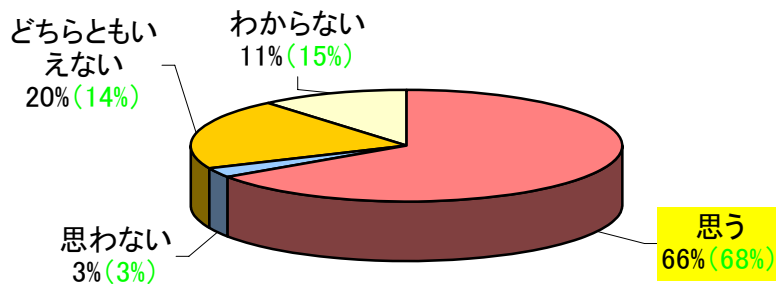
9 交番相談員について

Q28 あなたは、交番に交番相談員が配置されていることを知っていますか。



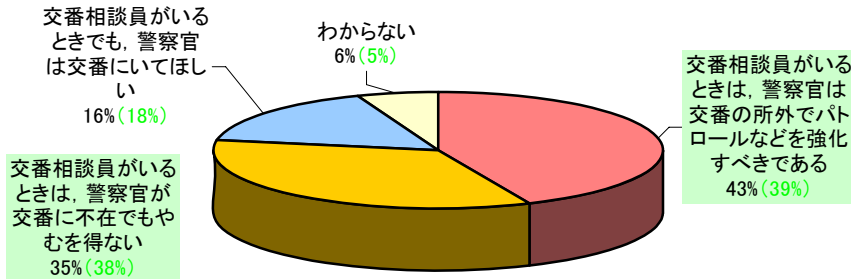
回答者の80%が、交番相談員の配置について、「知らない」と回答している。

Q29 あなたは、交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっていると思いますか。



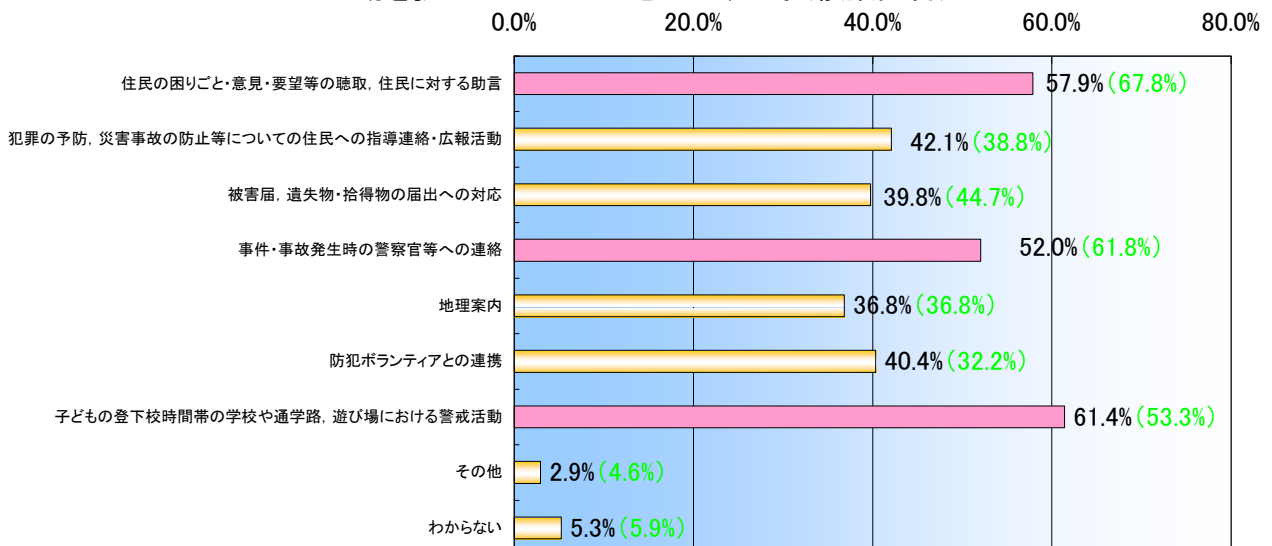
回答者の66%が、「交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっている」と回答している。

Q30 あなたは、交番相談員が交番にいるときは、警察官は交番に不在でもよいと思いますか。



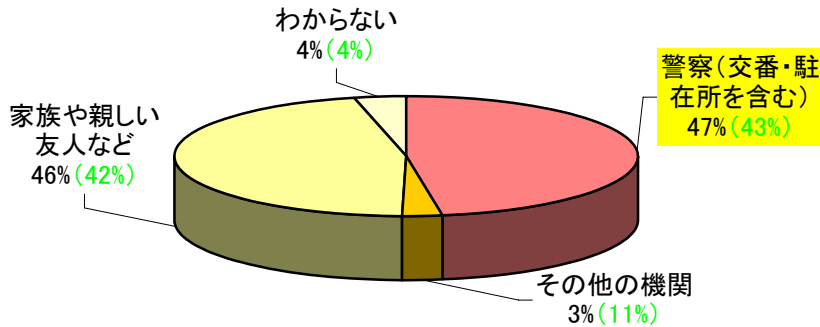
回答者の78%が、「交番相談員が交番にいるときは、警察官は交番に不在でもよい」と回答している。

Q31 あなたは、今後、交番相談員にどのような活動を強化してほしいと思いますか。(複数回答)



10 警察安全相談について

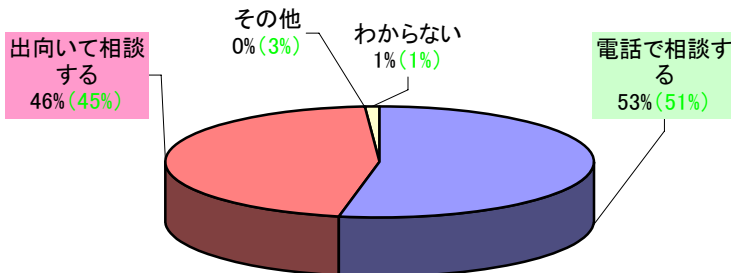
Q32 あなたは、身の回りで不安なことが起きたらどこに相談しますか。



回答者の47%が、身の回りで不安なことが起きたら「警察」に相談すると回答している。

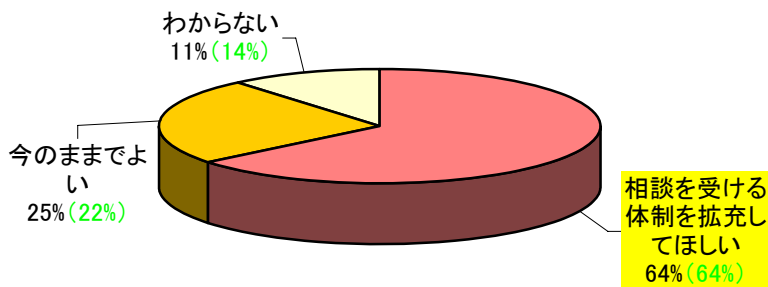
【「警察に相談する」と回答した方への更問】

SQ1 あなたは、警察に相談するとしたら、電話で相談しますか、出向いて相談しますか。



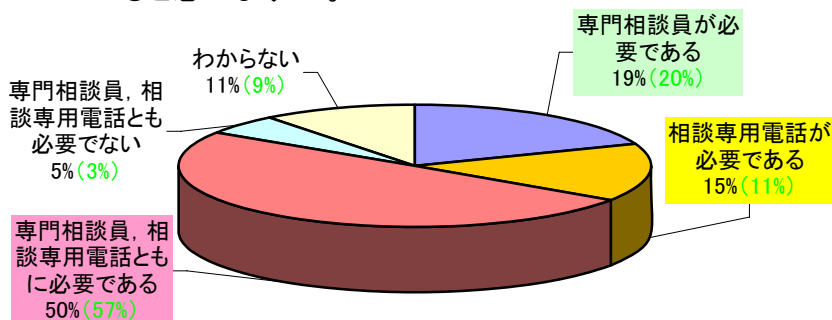
「電話での相談」と「出向いての相談」がほぼ半数の割合となっている。

SQ2 あなたは、警察署における相談を受ける体制は今のままでよいと思いますか。



回答者の64%が、「相談を受ける体制を拡充してほしい」と回答している。

Q33 あなたは、警察署に住民からの相談を受ける専門相談員や直通の相談専用電話が必要だと思いますか。



「専門相談員が必要である」、「相談専用電話が必要である」、「専門相談員、相談専用電話ともに必要である」との回答が全体の84%を占めている。